

4/29-5/5 #11 良き地の産物の余剰と真実の中での父なる神に対する団体的な礼拝 **Birds Eye View** 私たちが「余剰」という言葉を用いるのは、イスラエルの民が神を礼拝するという目的のために、良き地での労苦からの彼らの産物のある部分を取っておいたからです

**A** 良き地の産物の余剰は、キリストを予表します。**B** イスラエルの民は、カナン産物を神にささげ、神と共にそれを享受しました。**C** 良き地の産物の余剰を享受することは、キリストを団体的に享受して、神に対する私たちの礼拝とすることを予表します。**D** この予表の新約の成就によれば、私たちは団体的な方法で神を礼拝しに来るとき、私たちが経験したキリストを持って来なければなりません。**エペ3:18** 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し。**II** もし私たちがすべてを含むキリストの上で忠信に労苦するなら、私たちは産物としてのキリストの豊富を持ち、召会の集会の中でキリストを展覧します **エペ3:8** すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり。**A** クリスチャンの正しい生活は、毎日キリストの上で労苦し、こうしてキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに展覧することです。**1** 私たちは召会の集会で共に集まって、キリストを展覧します。**2** 私たちが日ごとにキリストの豊富を経験することを通して、これらの豊富はキリストの産物の展覧となります。**3** 私たちの集会はいつも、キリストが何であるか、キリストが何を持っているか、キリストが何を行なっているかを示す展覧であるべきです。**B** 私たちが集会して展覧するのは、神によって私たちに与えられたキリストだけでなく、私たちが産出したキリスト、私たちが労苦し経験したキリストでもあります。これが、私たちが共に集まって展覧するキリストです。**コロ1:12** 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。**C** 私たちが絶えずキリストの上で労苦しするなら、私たちはキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに展覧します。**1コリ14:26** それでは兄弟たちよ、どうなのですか？ あなたがたがいつも集まる時には、それぞれの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、異言があり、解釈があります。すべての事を、建造のために行ないなさい。**D** いつであれ私たちが共に集まる時は、私たちがどのような種類の集会を持つかにかかわらず、私たちが経験した余剰としてのキリストをもって来て、神にささげ、全宇宙と敵に展覧し、敵を辱めるべきです。**エペ3:10** 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり。**1** そのとき、私たちの集会

は、キリストに満ちているので、豊かにされ、強められます。**2** そのような召会生活は、キリストの展覧、キリストの表現です。**3** 私たちはキリストの余剰をあらゆる集会にもたらし、キリストを展覧する必要があります。**4** 私たちは、日常生活の中でキリストを享受し、そして共に集まって彼を展覧する必要があります。**E** 私たちは正しいクリスチャンの集会を持つために、私たちの個人的な生活の中で日ごとに主と接触し、それから、私たちはキリストを展覧しキリストを他の人たちと分かち合うために来るという認識と理解をもって、集会に来る必要があります。**F** 「集会するたびにキリストを持ち寄り、彼が賜ったあり余る豊富を、神の食物として共にささげ、このようにキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。共に豊富[余剰]を持ち寄り、来てキリストを展覧しましょう」。**III** 私たちは、すべてを含むキリストの上で労苦し、キリストの余剰を持って召会の集会にもたらし、私たちの父なる神を団体的に礼拝する必要があります。**A** 「四十年以上の間[1982年に語られました]、私は神への真の礼拝に関して戦ってきました。この戦いはまだ勝ち取られていません」。**B** 御父は、私たちが彼を礼拝するために、キリストの収穫物をもって御父に来ることを要求します。こういうわけで、私たちはキリストの豊富をもって召会の集会に来る必要があります。**C** 毎日、私たちはキリストの上で労苦し、キリストの豊富の収穫物を持ち、召会の集会にもたらし、父なる神を団体的に礼拝すべきです。キリストは高く上げられ、キリストの栄光は現されます。そして御父は喜び、満足します。**D** 極めて重要な事は、私たちが勤勉にキリストの上で労苦し、私たちの手をキリストで満たし、それから召会の集会に来て、この豊富で栄光に満ちたキリストを、神の子供たちと共に、また父なる神ご自身と共に享受することです。**E** 私たちは主の食卓の集会に来て、主を記念し、御父を礼拝するときにはいつも、私たちが日ごとにキリストの上で労苦しることによって産出されるキリストの豊富をもって来なければなりません。**F** これら最後の日々に主は、キリストに対する真の経験を回復し、集会においてキリストの豊富の余剰を展覧します。それは、キリストのからだとしての召会を建造するためであり、花婿の来臨のために花嫁が用意を整えるためです。**IV** **ヨハネ4:23** ~24によれば、私たちは霊と真実の中で私たちの父なる神を礼拝する必要があります **ヨハ4:23** しかし、真の礼拝者たちが、霊と真実の中で父を礼拝する時が来る。そしてそれは今である。父はそのように彼を礼拝する者を、捜し求めておられるからである。**24** 神は霊であるから、彼を礼拝する者は、霊と真実の中で礼拝しなければならない」。**A** 真実とは、啓示された神聖な実際(三一の神が御子イエス・キリストの中で

人の中へと分与されること)が、私たちの真実と誠実になることです。それによって私たちは、神聖な光に一致する生活をし、また彼が何であられるかにしたがって、神が捜し求めておられるとおりに神を礼拝します。**ヨハ1**長老から愛する者ガイオへ。私はあなたを真実の中で愛しています。**B**神聖な實際を享受することから、人の真実(truthfulness)と誠実(sincerity)と真摯さ(genuineness)が生じます。**C**真実とは、人の真摯、誠実、真誠、信頼に足ること、信実であって、神聖な實際が流れ出た人性の美德です。**ヨハ14:6**イエスは彼に言われた、「私は...実際であり」。**D**ヨハネ4:23~24の「真実」が示すのは、神聖な實際が人の真摯と誠実となって、神に対する真の礼拝になるということです。**E**神聖な實際は、生ける水(命を与える霊)の源泉としてのキリストであって、信者たちはこのキリストにあずかり、このキリストを飲みます。そして、このキリストが彼らの内側の実際となり、最終的に彼らの真摯と誠実となって、その中で彼らは、神の求めている礼拝をもって神を礼拝します。**ヨハ4:14**しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渇くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」。**F**真実の中で御父を礼拝するとは、私たちの存在に浸透して、私たちの個人的な実際となったキリストをもって、御父を礼拝することです。これは、神聖な實際である三一の神を私たちが経験し、享受することを通してです。

**CP1**召会の集会で神にささげる余剰を持つために、朝早く起き、主と接触し、御言を読み、祈る必要がある

**I**私たちが「余剰」という言葉を用いるのは、イスラエルの民が神を礼拝するという目的のために、良き地での労苦からの彼らの産物のある部分を取っておいたからです**申12:11** エホバ・あなたがたの神が御名を住まわせるために選ばれた場所へ、私があなたがたに命じているすべてのものを、持って行かなければならない。それは、あなたがたの全焼のささげ物と犠牲、あなたがたの十分の一と手の挙げるささげ物、あなたがたがエホバに誓願する、すべてのえりすぐりの誓願である。**16:16** あなたの男子はみな一年に三度、パン種のないパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭りの時に、エホバ・あなたの神が選ばれた場所で、御前に出なければならない。エホバの御前には、空手で出てはならない。**17** 自分のできることに応じて、エホバ・あなたの神があなたに与えられた祝福にしたがって、各自はささげなければならない。

**A**良き地の産物の余剰は、キリストを予表します。

**B**イスラエルの民は、カナン産物を神にささげ、神と共にそれを享受しました。**C**良き地の産物の余剰を享受することは、キリストを団体的に享受して、神に対する私たちの礼拝とすることを予表します。

**D**この予表の新約の成就によれば、私たちは団体的な方法で神を礼拝しに来るとき、私たちが経験したキリストを持って来なければなりません。

余剰は、最後の十分の一ではなく、最初の十分の一です。イスラエル人は主のために、小羊のすべての初子と産物の最初の十分の一のすべてを分けておかなければなりません。これが予表していることは、キリストの中へもたらされた後、私たちはキリストの上で労苦し、聖霊と協力してキリストによって生きる必要があるということです。...聖書の一番初めから、アダムが創造された後、人は地を耕さなければなりません。私たちは地を耕し、種をまいて、収穫物を刈り取る必要があります。恵みは、私たちのためにこれらの事を行ないません。私たちは、天から雨を降らせることはできません。...それは真に恵みによるものです。日光、空気、雨、豊かな土壌はすべて、恵みによるものです。しかしながら、私たちにはみな自分の責任があることを認識しなければなりません。...毎朝、私たちは早く起きる必要があります。農夫はだれ一人として、怠惰であることはできません。だれもが朝早く起きなければなりません。もし私たちが朝早く起きてキリストとの少しの時間を費やさないと、私は確信しますが、集会に来るとき、私たちの手には何もありません。私たちは空手で集会に来るでしょう。私たちは地を耕し、種をまき、収穫物を刈り取るために、少し早く起き、主と接触し、御言を読み、祈る必要があります。

**適用:青少年・大学生、新人編**

**証**私はチャーチキッズで、幼い時から集会に行っていました。集会で何かを話したり発表してほしいと言われると、難しくて嫌だなど思うことが度々ありました。しかし成長していくにつれ、学生生活や仕事の中での避けられない困難にあう度に主の御名を呼んだり、兄弟姉妹との交わりや御言葉に励まされたりする経験を通して、内側に語るものが出てきました。しかしそれでもまだ「困難があったときだけ」の経験に限定されていて、キリストの豊富を経験するにはまだまだでした。主の憐れみの中で神戸の召会生活へもたらされて、日常生活の中で日ごとにキリストを経験することを学んでいく内に、語るものが増え、主日の集会や家庭集会も享受のあるものになりました。しかし逆に、私が何も語るものがなく展覧するものが乏しい時は明確に享受が少なくなりました。余剰は最後ではなく最初の十分の一です。それは自分の享受のためではなく、神ご自身の享受のためです。この事を認識するとその日1日をキリストの上で労苦する1日に変える事ができました。どうか主が憐れんでくださり、私が怠惰である



ことから逃れて、キリストの豊富な余剰をいつも召会の集会に携えて行くことができますように。

**祈り** おお主イエスよ、集会に来る時、私が経験したキリストを持って来なければなりません。そのために毎日、キリストの上で労苦し、聖霊と協力してキリストによって生きる必要があります。少し早く起き、主と接触し、御言を読み、祈るなら、キリストを経験し、神にささげる余剰を持つことができます。空手で行くことがないように、いつも豊かなキリストを携えて集会に行くことができますように。

**CP2** キリストの上で労苦し、キリストの豊富な収穫物をもって団体的に父なる神を礼拝し、キリストの栄光を表現する

**III** 私たちは、すべてを含むキリストの上で労苦し、キリストの余剰を持って召会の集会にもたらし、私たちの父なる神を団体的に礼拝する必要があります

**A** 「四十年以上の間[1982年に語られました]、私は神への真の礼拝に関して戦ってきました。この戦いはまだ勝ち取られていません」。 **B** 御父は、私たちが彼を礼拝するために、キリストの収穫物をもって御父に来ることを要求します。こういうわけで、私たちはキリストの豊富をもって召会の集会に来る必要があります。 **C** 毎日、私たちはキリストの上で労苦し、キリストの豊富な収穫物を持ち、召会の集会にもたらし、父なる神を団体的に礼拝すべきです。キリストは高く上げられ、キリストの栄光は現されます。そして御父は喜び、満足します。 **1コリ 14:26** それでは兄弟たちよ、どうなのですか？ あなたがたがいつも集まるときには、それぞれの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、異言があり、解釈があります。すべての事を、建造のために行ないなさい。 **D** 極めて重要な事は、私たちが勤勉にキリストの上で労苦し、私たちの手をキリストで満たし、それから召会の集会に来て、この豊富で栄光に満ちたキリストを、神の子供たちと共に、また父なる神ご自身と共に享受することです。 **E** 私たちは主の食卓の集会に来て、主を記念し、御父を礼拝するときにはいつも、私たちが日ごとにキリストの上で労苦しることによって産出されるキリストの豊富をもって来なければなりません。 **1** キリストをもって神を礼拝することは、互いに、また神と共にキリストを享受することによって、神のすべての子供たちと共に、集団で神を礼拝することです。 **2** 私たちは十分なキリストを産出して、余剰があるようにし、他の人たちと分かち合い、その産物の最上の部分を父なる神にささげて、彼の喜び、歓喜、満足となるようにする必要があります。 **申 12:11** エホバ・あなたがたの神が御名を住まわせるために選ばれた場所へ、私あなたがたに命じているすべてのもの

のを、持って行かなければならない。それは、あなたがたの全焼のささげ物と犠牲、あなたがたの十分の一と手の挙げるささげ物、あなたがたがエホバに誓願する、すべてのえりすぐりの誓願である。

**F** これら最後の日々に主は、キリストに対する真の経験を回復し、集会においてキリストの豊富な余剰を展覽します。それは、キリストのからだとしての召会を建造するためであり、花婿の来臨のために花嫁が用意を整えるためです。

私たちは、私たちの霊を活用することによって、キリストに接触し、キリストを享受し、経験し、あずかる必要があることを強調するのです。...もし私たちが日ごとにこれを実行しないなら、召会生活を持つことは不可能です。私たちはみな日ごとに地を耕し、種をまき、水をやり、肥料をやり、日光を当てることによって、私たちの地としてのキリストの上で労苦しなればなりません。これは、私たちが主と交渉し、また主によって対処されなければならないことを意味します。さらに、私たちは彼に信頼して福音を語る必要があります。一定期間の後、私たちは収穫物として主の何かを持ちます。何かが余剰として実ります。そして私たちは豊かに集会に携えて来るために、私たちの霊の中に分け前を持ちます。私たちは神の満足のために彼にささげるための、また他の人たちの満足のために彼らと分かち合うためのキリストの豊富をもって集会に来ます。この種類の集会、奉仕、務め、貢献によって、召会はキリストの実際と本質の豊満をもって出現します。...私たちはこの終わりの時代に、主が集会におけるキリストの豊富な余剰のための、キリストに対する真の経験を回復して、召会生活の本質と実際を生み出されると信じます。

#### **適用:ビジネスパーソン、大学院生編**

**証** 私は大学1年生であった18歳の時に救われました。私は福音集会に参加するために、徳島に在る教会の集会所に行きましたが、心の中では、キリストは道徳について議論する人であると考えており、しかも彼らを少し軽蔑していました。そんな状態にもかかわらず、集会所の集会に入ったその瞬間に、召会の兄弟姉妹の喜びに満ちた賛美を通して、神の栄光が私を訪れてくださいました。栄光の輝きが私の心を照らした時に、私の宗教的な観念は取り除かれ、次のように心の中で言いました、「彼らは歓喜で満たされており、私には喜びがない。私は彼らが持っている喜びが必要である」。その時に光と愛を伴って神ご自身が、私の中に入ってきました。そして、私は集会の中で兄弟姉妹に完全に開きました。私は救われた後、すべての集会に参加するようになりました。救われてから45年が

過ぎましたが、この間、私は一度も集会を休んだことがありません。それは、栄光の神が、召会を通して私に現われてくださり、私を引き寄せてくださったからでした。その後、神戸で召会生活を始めてから、私と同じような方法で、召会が一つ心で賛美している時に、多くの大学生や大学院生が、救われました。[エペ3:21](#) 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように...

年長者が、若者たちを励まし、彼らの機能を引き出すことは、神のエコノミーに沿っており、神を喜ばせます。また、私たち年長者は、日常生活でキリストの上で労苦し、キリストを産出し、キリストの豊富の余剰を携えて、召会の集会にもたらし、召会が神の栄光で満たされるようにすることは主の再来を準備することです。私たち大人の兄弟姉妹はこのことを実行する模範になってください。

青少年(YP)地区のパンさき集会に参加すると、彼らは幼いですが、彼らなりに同世代の若者たちと共に集まり、互いに励まし合い、助け合いながら喜んで、集会で賛美し、証して、からだの中で主を享受しています。彼らは未だ不安定ですが、若いので霊的学課を早く学ぶことができます。各地区の大人の兄弟姉妹たちは、自分の地区から育った中高生、大学生の兄弟姉妹たちのために続けて祈ってください。このような祈りには価値があります。35歳以上の聖徒たちは、35歳以下の子供、小学5・6年生を含む中高生、大学生、大学院生、若いビジネスパーソンの若者たちを励ましてください。彼らは私たちの肩の上に立ち、私たちより良くならなければなりません。[マタイ6:30](#) 今日はこちらにあって、明日は畑に投げ入れられる野の草を、神はこのように装ってくださるのだから、あなたがたにはなおさら、着せてくださらないはずがあるか? あなたがた信仰の小さい者よ、[31](#) こういうわけで、『何を食べようか? 何を飲もうか? 何を着ようか?』と言って、思い煩ってはならない。[33](#) まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらの物はすべて、あなたがたに加えて与えられる。[列王紀下20:19](#) ヒゼキヤ(悪い模範)はイザヤに言った、「あなたが語られたエホバの言葉(イスラエルの民のバビロンへの捕囚)は結構です」。彼は更に言った、「なぜなら、私の日々には平和と真実があるのですから」。

**祈り** おお主イエスよ、私たちは勤勉にキリストの上で労苦して、キリストを召会の集会に携え来て、神の子供たちと共に、また父なる神ご自身と共に享受します。余剰があるように十分なキリストを産出し、他の人たちと分かち合い、その産物の最上の部分を父なる神にささげます。そうすれ

ば、キリストは高く上げられ、キリストの栄光は現されます。そして御父は喜び、満足します。

### 神戸に在る召会交わりと報告事項

- 4/29(月・祝)リジョイスガーデンブレンディング:**  
各集会所9:30出発、下山15:00  
昼食はBBQです。  
参加費:交通費500円(小学生以下250円)  
食費:大人1000円  
中・高・大学生・大学院生700円  
小学生500円、未就学児無料
- 今週の福音開展場所:**  
4/30(火)10:30-12:30、15:00-17:00@六甲
- Zoomの使用について:**  
主日集会:5/12(主)から第一大地区(本山・YP・魚崎・六アイ・夙川)は、374 864 5537(召会所有)、第二大地区(六甲・三宮・神戸)は、795 487 7813(余力Bの会社所有)を使います。今後は、召会の主日集会、責任者等の集会以外はZoomを使用しませんので注意してください。
- 姉妹集会:**5/1(水)10:00-12:00@魚崎  
今週は合同で、特別集会の準備を行います。
- 全国特別集会@魚崎:**  
5/3(金・祝)13:45-15:10 M1, 15:30-17:00 M2  
5/4(土)13:30-15:00 M3, 15:30-17:00 M4  
5/5(主)10:00-12:30 パンさき集会とM5
- 特別集会準備と交わり:**5/2(木)10:00~@魚崎  
集まれる兄弟姉妹は、魚崎に来てください。
- Daytimeレーニング:**  
5/2(木)は、全国特別集会の準備のため、訓練はありません。